

顎下部のたるみ取り —私はこうしている—

企 画 に あ た っ て

高齢化社会とともに、「いつまでも若くありたい」と望む人が増えています。顔面の除皺術（フェイ斯拉フト）は、それを実践するうえで有効な治療法の1つであり、手術（切開法）だけでなく、糸によるスレッドリフトなどの低侵襲な方法も開発されています。このように顔面の除皺術は若返りにとって重要な手技の1つですが、顎下部のたるみの修正も同じく重要な要素の1つです。

一方、欧米人に比べ日本人では顎下部に著しいたるみを生じることが少なく、この点については顔面ほど多くの報告や著述がありません。そこで、今回はこの部のたるみの修正についての特集を組むことにいたしました。臨床経験の豊富な先生方にご執筆いただいておりますので、本特集が多くの読者の先生方の日々の臨床にお役に立てれば幸甚です。

久留米大学医学部形成外科・顎顔面外科学講座 清川兼輔